【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-518486(P2004-518486A)
【公表日】平成16年6月24日(2004.6.24)
【年通号数】公開・登録公報2004-024
【出願番号】特願2002-563865(P2002-563865)
【国際特許分類第７版】
Ａ６１Ｍ　29/02
Ａ６１Ｋ　35/12
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｌ　31/00
Ａ６１Ｍ　37/00
Ａ６１Ｐ　 7/02
Ａ６１Ｐ　 9/10
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　29/02
Ａ６１Ｋ　35/12
Ａ６１Ｋ　45/00
Ａ６１Ｌ　31/00　C
Ａ６１Ｌ　31/00　P
Ａ６１Ｌ　31/00　T
Ａ６１Ｌ　31/00　Z
Ａ６１Ｍ　37/00
Ａ６１Ｐ　 7/02
Ａ６１Ｐ　 9/10

【手続補正書】
【提出日】平成16年12月16日(2004.12.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　ステント配置のための装置であって、
近位端および遠位端、ならびに該近位端と遠位端との間に延びる管腔と、且つウェブ構造体を画定する壁とを有し、該ウェブ構造体が折り畳まれた送達配置から拡張した展開配置へと拡張するよう構成されている管状本体を備え、
該ウェブ構造体が該壁全体に拡張する複数の近隣ウェブパターンを備え、各ウェブパターンは１つのウェブパターンが１つの凹形状を有するウェブの少なくとも１つと接続セクションにより相互に接続される複数のウェブを有し、且つ該近隣ウェブパターンが少なくとも１つの接続セクションにより相互接続されあるいは分離され、且つ治療剤を含有する管状本体のコーティングを備えた装置。
【請求項２】　前記コーティングは該近位端および該遠位端の間で管状本体の少なくとも一部に付着され、及び、塞栓保護を増強し、そして再狭窄および血栓形成の危険性を低下させるよう配置された細孔を備える材料からなる請求項１に記載の装置。
【請求項３】　前記管状本体が自己拡張である請求項１に記載の装置。
【請求項４】　前記管状本体がバルーン拡張可能ステント、双安定セルステント、お

よび金属メッシュステントからなる群より選択される請求項１に記載の装置。
【請求項５】　前記細孔が約３０μｍ以上の最小幅を有し、これによって再狭窄および血栓形成の危険性を低下させる請求項２に記載の装置。
【請求項６】　前記細孔が約１００μｍ以下の最大幅を有し、これによって塞栓保護を増強する請求項５に記載の装置。
【請求項７】　前記細孔が約８０μｍの平均幅を有する請求項６に記載の装置。
【請求項８】　前記材料が生体適合性ポリマー、変性熱可塑性ポリウレタン、ポリエチレンテレフタレート、ポリエチレンテトラフタレート、発泡ポリテトラフルオロエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、ナイロン、ポリエチレン、ポリウレタン、ホモロジー材料、自己由来の静脈、非自己由来の静脈、生分解性材料、ポリラクテート、ポリグリコール酸、およびこれらの組み合わせからなる群より選択される請求項２に記載の装置。
【請求項９】　全ての接続エレメントは少なくとも３つの弓状ウェブにより分離される請求項１に記載の装置。
【請求項１０】　前記少なくとも１つの接続エレメントが近隣ウェブパターンの隣接する弓状ウェブに広がる直線セクションを備える請求項１に記載の装置。
【請求項１１】　前記治療剤が結合した活性基、放射線、遺伝子ベクター、医薬、およびトロンビンインヒビターからなる群より選択される請求項１に記載の装置。
【請求項１２】　前記材料が前記ステントの少なくとも外側表面の部分に配置される請求項２に記載の装置。
【請求項１３】　前記材料が前記ステントの少なくとも内側表面の部分に配置される請求項２に記載の装置。
【請求項１４】　前記材料が前記ステントの少なくとも一部の開口部内に焼結されている請求項２に記載の装置。
【請求項１５】　前記細孔が該細孔を通って血液が流れることを可能にするよう構成されている請求項２に記載の装置。
【請求項１６】　前記装置が該装置によって付与される力または該装置に付与される力を、該装置の一部にわたって分散するよう構成されている請求項１に記載の装置。
【請求項１７】　前記装置が拡張した展開配置に展開された後の管状本体の管腔を再交差させるために構成されている請求項１に記載の装置。
【請求項１８】　前記自己拡張管状本体が弾性ウィーブパターンを備える請求項３に記載の装置。
【請求項１９】　前記管状本体が変形可能な材料を含む請求項４に記載の装置。
【請求項２０】　前記変形可能な材料がステンレス鋼およびチタンからなる群より選択される請求項１９に記載の装置。
【請求項２１】　放射線不透過特徴をさらに有する請求項１に記載の装置。
【請求項２２】　前記装置が、血管の側枝において配置されるように構成される、少なくとも１つの開口を備える請求項２に記載の装置。
【請求項２３】　一部の前記細孔が残りの前記細孔と比較して異なる多孔度を構成し、該一部の該細孔が血管の側枝に位置されて、血液が該側枝を通って流れることを確実にするように構成される請求項２２に記載の装置。
【請求項２４】　前記材料が不連続な点に沿って前記ステントに付着されている請求項２に記載の装置。
【請求項２５】　前記材料が規定された面に沿って前記ステントに付着されている請求項２に記載の装置。
【請求項２６】　前記規定された面が長手方向の継目、螺旋状の継目、および円周状のバンドからなる群より選択される請求項２５に記載の装置。
【請求項２７】　前記材料が前記管状本体に前記ウェブ構造体の大部分に沿って付着されている請求項２に記載の装置。
【請求項２８】　ステント配置のための装置であって、
近位端および遠位端、ならびに該近位端と遠位端との間に延びる管腔を有するステント

、ならびに
該近位端と遠位端との間で、該ステントの少なくとも一部に付着された材料であって、該材料が該材料の全長に沿って細孔を有し、該細孔が約３０μｍより大きく約１００μｍより小さな直径を有する材料、
を備え、
ここで、該材料が該ステントに不連続な点または規定された面に沿って付着されている装置。
【請求項２９】　前記ステントがウェブ構造体を有する壁を備える管状本体をさらに備え、該ウェブ構造体が折り畳まれた送達配置から拡張した展開配置へと拡張するよう構成されている装置であって、
該ウェブ構造体が複数の相互接続した近隣ウェブパターンを備え、各ウェブパターンが複数の隣接ウェブを有し、各隣接ウェブが第１の横方向セクションと第２の横方向セクションとの間に介在する中央セクションを備え、
ここで、該中央セクションが該折り畳まれた送達配置にある場合に該ステントの長手方向軸に対して実質的に平行であり、該第１の横方向セクションの各々が第１の角度で該中央セクションに接合し、該第２の横方向セクションの各々が第２の角度で該中央セクションに接合し、そして該近隣ウェブパターンの隣接するものが交互の陥凹を有する請求項２８に記載の装置。
【請求項３０】　ステント配置のための装置であって、
近位端および遠位端、ならびに該近位端と遠位端との間に延びる管腔を有するステント、ならびに
該ステントの少なくとも一部に、不連続な点または規定された面に沿って付着された材料、
を備える装置。
【請求項３１】　前記材料が該材料の全長に沿って細孔を有し、該細孔が約３０μｍより大きく約１００μｍより小さな直径を有する請求項３０に記載の装置。
【請求項３２】　前記ステントがウェブ構造体を有する壁を備える管状本体をさらに備え、該ウェブ構造体が折り畳まれた送達配置から拡張した展開配置へと拡張するよう構成されており、
該ウェブ構造体が複数の相互接続した近隣ウェブパターンを備え、各ウェブパターンが複数の隣接ウェブを有し、各隣接ウェブが第１の横方向セクションと第２の横方向セクションとの間に介在する中央セクションを備え、
ここで、該中央セクションが該折り畳まれた送達配置にある場合に、該ステントの長手方向軸に対して実質的に平行であり、該第１の横方向セクションの各々が第１の角度で該中央セクションに接合し、該第２の横方向セクションの各々が第２の角度で該中央セクションに接合し、そして該近隣ウェブパターンの隣接するものが交互の陥凹を有する請求項３０に記載の装置。